租税教室を行わせていただきました!!

2018 年 11 月 13 日

小中高に出向いての租税教室を行っています

―租税教室とは―

小学生、中学生、高校生向けに租税の仕組みや重要性を、税の専門家である税理士がわかりやすく解説するものです。平成 23 年に租税教育等基本指針が制定され、租税教育推進協議会、税務行政、教育行政との連携を図りながら、実施しております。

所長の岡本修司は毎年、豊田市内の学校へ講師として派遣され、税金とは何なのかという講義をしています。講義歴は今回で 7 回目となります。

昨年同様、今年も岡本会計事務所の近くにある豊田市立前林中学校にて、3 年生 232 名を対象に講義しました。

はじめに、自己紹介と税理士の仕事を簡単に紹介しました。

次に、税金をもっと知っていただくため、サラリーマンの 1 日を通して、税との関わりや税金の種類について説明しました。

酒税とたばこ税の高さに、生徒たちからどよめきが起こりました!!

　では、もしもこの国に税金が無かったとしたら・・・？
DVD「アナザーワールド」を上映しました。
　上映前には、「税金なんて不必要だ!!」と賛成していた生徒も、上映後には全員「やはり税金は必要だ」と納得していました。

　税金が無ければ学校は有料になり、高額な医療費を全額支払い、年金は一切もらえず、道路や上下水道の整備も行われず、ゴミの回収もされず、救急車も消防車も 110 番もお金がかかり・・・等々
　とても、一般家庭の収入では生活していけません!!
　税金とは、わたしたち国民が社会の一員として暮らしていくための、いわば「会費」のようなものですね。

　最後にまとめとして、現在の国の財政について話しました。
　現在の日本には、公債残高が 883 兆円という巨額な借金が存在しています。今後、少子高齢化がさらに加速していき、働き手が減少していくことが予想される中で、どういう国を作れば借金が無くなり、国を良くすることができるのか？を考え行動していかなければなりません。

　その第一歩として、生徒たちには 18 歳になったらぜひ選挙投票へ行ってもらいたいと、話しました。
　なぜなら、議員を選ぶということは、国民唯一の賛成・反対の声を上げる場であるからです。

税金は尊く大切なものなので、無駄なく効率的に使われることが大前提であることは言うまでもありませんが、私たちはこれからの時代に合った国民負担のあり方と政府の役割について考える必要があります。

少し難しいお話になってしまいましたが所長の岡本修司より生徒たちへエールとして送らせていただいた、かの吉田松陰が遺した言葉をご紹介致します。

夢なき者に理想なし
理想なき者に計画なし
計画なき者に実行なし
実行なき者に成功なし
故に、夢なき者に成功なし

今年の租税教室も大変有意義なものとなりました。
たくさんの可能性を秘めた生徒たちの、今後のご活躍をお祈り致します。